



統計スポット情報

No. 103

H17.3.8

福井県総務部政策統計室

福井の食料費 増加する中食費

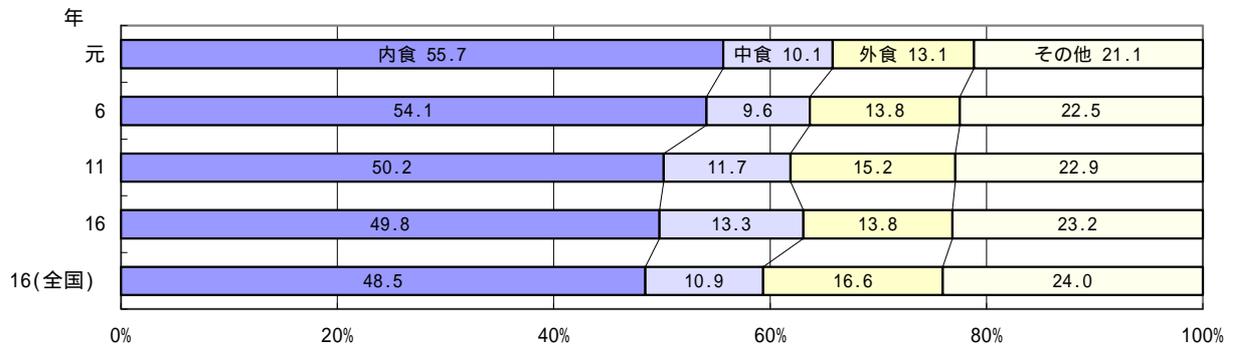
平成16年の「家計調査」の結果から、福井の食料費について見てみましょう。

1 食形態で見た食料費の推移

下のグラフは、家庭で調理して食事をする「内食」、レストランなどに出かけて食事する「外食」、そしてその中間に位置する「中食」（弁当、そうざい、レトルト、冷凍食品など）の割合の推移を表しています。「その他」には、菓子類、飲料、酒類が含まれます。

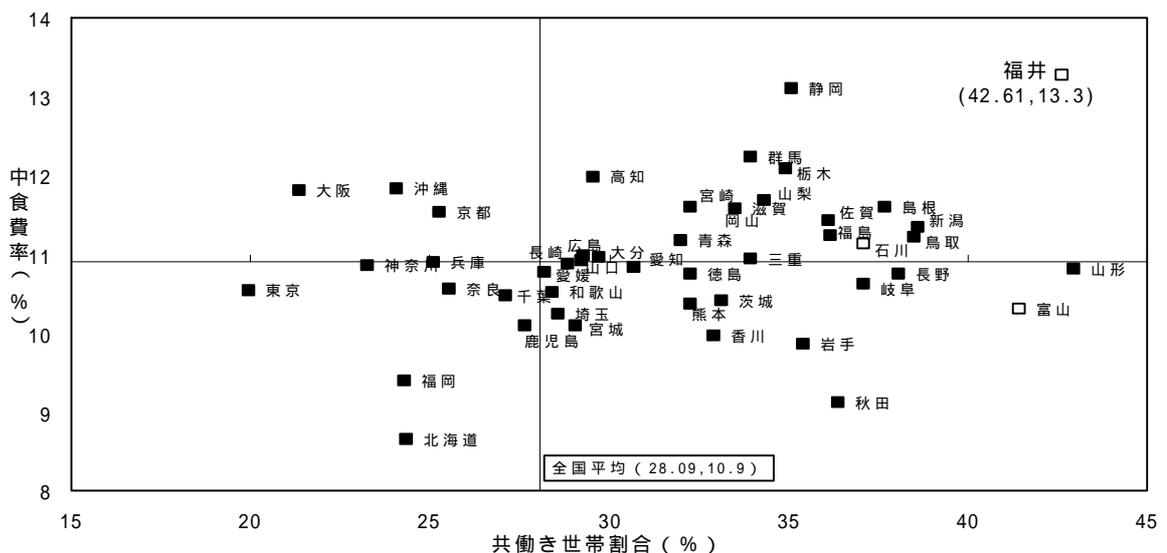
内食費は、平成元年には55.7%を占めていましたが、平成16年には5.9ポイントも減少し、49.8%となりました。外食費も、平成11年ごろまで割合が増加してきましたが、近年は景気低迷による所得の減少・停滞や低価格化により減少しています。一方で中食費は、平成元年の10.1%から3.2ポイント増加して13.3%を占め、全国と比べても2.4ポイント高くなっています。

食形態で見た食料費の推移（福井市・全世帯）



2 中食と共働きとの相関関係

福井は下図のとおり中食費率は全国で最も高く、また共働き世帯割合も42.61%と2番目に高くなっています。そこでこの2つに相関関係があるか調べてみると、相関係数(r)は0.26と低く、特に相関関係があるとは言えないようです。



(注) 相関係数(r)・・・-1.0 r 1.0の範囲の値をとり、rが-1.0または1.0に近いほど相関が強いといえる。

この資料内容の照会は政策統計室統計分析チーム(電話 0776-20-0271)へご連絡ください。